



# 碧南ロータリークラブ週報

第2664回例会 平成25年11月13日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内 TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)



- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のビジター

天野卓様 (西尾 RC)

## ● 本日のお客様

青少年交換委員 黒田勝基様 (高浜 RC)



## 会 長 挨 拶

11月の第3木曜日が近づいて参りました。ボジョレーヌーボーの解禁日です。原産と農業の国、フランスがワインの品質とブランドの差別化を図ったものです。



長田豊治会長

「ガメ種」という黒ブドウを原料にして、マセラシオン・カルボニック製法(炭酸ガス浸潤法)で醸造することで製品を差別化しているそうです。通常は収穫したブドウを破碎してから発行させますが、この製法はブドウを破碎せず、縦型の大きなブドウは大きなステンレスタンクに上からどんどん入れてしまいます。タンクの下の方のブドウは重さでつぶれ、果汁が流れ出て自然に発酵が始まります。発酵が始まると炭酸ガスが生成されますから、次第にタンク全体が炭酸ガスで充満します。その中ではつぶれていないブドウの細胞内部で酵素の働きによってリンゴ酸が分解され、アルコール、アミノ酸、コハク酸などが生成され、ブドウの皮からも成分が侵出します。

この方法で造ったワインは、タンニンが少ないわりには色が濃く、渋みや苦みが通常のワインより少なくなります。リンゴ酸も分解されるので、味わいもまろやかになり、炭酸ガス

によって酸化が防止されるのでワインがフレッシュに仕上がります。全体的にライトな感じに出来上がり、独特のバナナのような香りもします。従って新酒の状態でも十分飲めるものになるわけです。軽快で渋みがほとんど無くやさしい口当たりで、初めての方でも飲みやすいワインとされています。

通常のワインと異なり、ボジョレーヌーボーは熟成されると味が落ちてしまうため、出来るだけ早く飲む方が良くとされています。通常の赤ワインは常温で飲むのが美味しいとされていますが、フレッシュを売りとするボジョレーは冷蔵庫で1時間ぐらい冷やすか、ワインクーラーなどでやや冷やして飲む方が、美味しさが際立つそうです。

ちなみに輸入量第1位は日本であり、全生産量の約4分の1を占めているとの事です。詳しい事は、鈴木泰博さんか平岩統一郎さんに聞いてみて下さい。

来週はフランスの農業戦略にはまるのを楽しみにしております。

## 幹 事 報 告

本日の幹事報告は3点ございます。

- ・ 第5回理事会、例会変更等は幹事報告書の通りでございますので、ご一読をよろしくお願い致します。
- ・ 地区大会のご案内です。地区大会に参加予定者のメールボックスに地区大会の冊子を入れておきました。当日、冊子をご持参頂きますよう、お願い致します。ネームプレートですが、バスに乗車される方は、私の方で預かっておりまして、バスに乗車する際にお渡し致します。直接現地に行かれる方は、お渡し致しますので、よろしくお願い致します。
- ・ 55周年に記念行事に関して、理事会で承認を頂きました。今週から3回に分けてご説明したいと思います。これまでの経過ですが、55周年をロータリーファミリーで楽しもう、という方針に基づいて、歴代会長会議、並びに理事会で、実行委員会を作らないやり方でやりましょう、という事になりました。
- ・ 行事を担当する委員会についてですが、従来の各委員会の事業プラス、55周年の事業を担当して頂きます。3月19日の慰霊祭ですが、クラブ方針委員会と役員理事で担当させて頂きます。
- ・ 4月6日の記念例会の表彰は、会長、副会長、幹事、SAで担当させて頂きます。記念例会のプログラムは、プログラム委員会で案を練って頂きます。記念祝宴の方は、親睦活動委員会で担当して頂きます。
- ・ 55周年の記念誌ですが、クラブ会報委員会に担当して頂きます。
- ・ これらの内容は理事会でチェックさせて頂きます。皆さんが楽しめるような55周年にしていきますので、よろしくお願い致します。



岡本明弘幹事

## 委員会報告

### <出席奨励委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 7 名)出席者 50 名	
出席対象者 50/63 名	出席率 79.37%
欠席者 16 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 98.53%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

青少年交換委員 黒田勝基様 (高浜 RC) 青少年交換の卓話をさせていただきます。

天野 卓様 (西尾 RC) 先月の職場例会には、あいにくのお天気にもかかわらず、多数ご来訪いただきありがとうございました。今後共ご指導よろしく願い致します。

杉浦 勝典君 平成 25 年度納税表彰式において刈谷税務署長より表彰して頂きました。大変名誉な事で感謝しております。平岩商工会議所会頭にお世話になりました。有難うございました。

木村 徳雄君 久しぶりに来ましたが僕は元気です。皆さん宜しくお願いします。

平岩 辰之君 鈴木並生さん・森田英治先生には、交通安全協会・碧南支部研修旅行ではお世話になりました。

## 卓話

### 「青少年交流について」

青少年交換委員 黒田勝基様 (高浜 RC)



黒田勝基様

本日は、青少年交換についてお話をさせていただきたいと思います。

まず青少年交換活動についてですが、資料にも載っているマークは RI から指定させてマークであります。何かイベントがあって、このマークを見かけたら青少年交換のイベントだにご理解下さい。

青少年育成については、皆様もご理解頂いているかとは思いますが、おさらいという事で少し説明させていただきたいと思います。ロータリークラブが設立されてから青少年育成に関して、設立当初からいろいろ関わってきました。青少年交換について、一つの大きなイベントが 1929 年に行われました。1929 年に、アメリカとデンマークのロータリアン同士で、個人的な子供達の交換留学が行われました。お互いの国々で交換したというのが、1929 年が初めてになります。

1959 年には RYLA が、1962 年には IAC、1968 年には RAC がプログラムとして正式に誕生しております。1929 年には非公式で青少年の交換が行われましたが、19

74年に、正式に青少年交換が行われました。12歳から30歳ぐらいまでの次世代を担う青少年を、こういったプログラムでカバーしております。我々第2760地区は、1968年から青少年交換を実施しております。過去に、13カ国と交換をしております。

実績ですが、第2760地区で高浜RCは派遣、受入ともにダントツの一位でございます。2位が名古屋大須RC、3位が小牧RCでございます。私が青少年交換委員会に出向したのは、この実績があったからだと思っております。日本全国でも、高浜RCは青少年交換に関していえば、かなり高い実績をもっていると思っております。

日本全国では毎年40カ国と、200名から400名ぐらい青少年交換をしております。トータルで、100カ国以上、8,500名以上の高校生が海外へ行っております。東日本大震災以降、受入学生が減ってしまい、以前の数字に戻っておりません。これはとても残念な事だと思っております。全国で34地区ありますが、愛知県は最大のロータリアン数をほこっております。しかし、愛知県は34地区中19位でございます。平均しますと、458会員で一人受入学生を支えているという事になります。1位の埼玉南東の第2770地区は、189名で一人の交換学生を支えております。

交換の仕組みについてです。青少年交換は、15歳から19歳の高校生が対象となります。費用的に非常に安いプログラムでございます。現在アメリカから高浜にきている学生は、碧南高校に通わせて頂いておりますが、授業料などは一切かかりません。派遣する学生も同様です。かかる費用は、航空券、個人的な洋服などだけでございます。食事も授業料もロータリーが負担する形となっております。月に1万円のお小遣いももらえます。こんな留学制度はないと思っております。若きロータリーの国際親善大使という位置づけをしております。海外へ行きますと、何十人、何百人と異なる国の人と友達になれます。日本の文化、歴史を教えてお互いに交流をもつ、という事が青少年交換プログラムの基本的な趣旨でございます。国際理解、国際親善に最も有効なプログラムだと考えております。交換する際に、危機管理委員会が機能している地区同士で交換するので、安全だといえます。

交換についての条件についてです。

学校に通う事、ロータリークラブが認めたホスト家庭に滞在する事、ロータリーのルール等を守る事です。

ルールを少し紹介致します。

4D (Drive、Drink、Date、Drug) ルールの禁止、国の法律、学校の規則、家庭の決まりなどがあります。安全で快適で有意義な留学生生活を過ごしてもらいたいので、こういったルール設定をしてあります。

受け入れてからですが、第一優先は日本語の習得になりますので、極力日本語で会話して下さい。日本語しか話せない家庭と、英語が話せる家庭とでは、日本語習得に大きな差ができます。

経費の分担についてです。一人学生を受入ると、40万から60万ほど本会計から支出をせざると得ないです。友人との交際費など個人的な物は個人で払わせます。大きな事業になりますので、ぜひ一度ご計画して頂けたらと思います。

現在抱えている問題点についてです。

スポンサーRCの不足です。留学したい高校生は大勢いますが、スポンサーがいないと諦めてしまいます。日本の高校生が留学したい場合、バックアップしてくれるスポンサーRCを探しなさいと言っています。自分の住んでいる地域のRCに頼みにいくかと思いますが、高校生が多い名古屋の学生がRCに頼みにいきますと、うちではやっていないから隣のRCに行きなさい、とたらい回しになります。そういう学生がどんどん増えております。去年も、カナダへ留学させた学生は、千種区の子ですが高浜RCで留学させました。スポンサーRCが圧倒的に不足しております。

我々のプログラムは交換でございます。スポンサーになりますと、自ずとホストRCになります。費用は確かにかかります。また、家庭内に同年代の子供がいらないから、というご意見もございます。私は過去に7名ほど、ホストファミリーを受けております。当初は面倒だなあと思いましたが、しばらく過ごしますと温かい雰囲気です生活できます。実は今、2005年～2006年にドイツから留学していた子が我が家に遊びに来ております。数年前に来た子がまた日本に来たいという事で、遊びにくる事が多くあります。そういった受け皿を作っていきたいと思っております。

危機管理についても、愛知県はうまく回っていると思っております。

最後になりますが、ホストファミリーバンクに登録をお願い致します。今後は分区をまたがって学生を受入ようと思っております。碧南RCさんだけでは完結できない場合は、高浜RCや知立RCと連携しながらやっていきたいと考えております。ぜひホストファミリーになって頂いて、青少年交換プログラムのおもしろさを実感して頂きたいと思っております。ガバナーエレクト、ガバナーノミニーは青少年交換委員会の委員でございます。地区全体に認識度が高まっているとは思っておりますが、まだまだご存知でないところもございますので、本日は詳しくご説明をさせて頂きました。本日はありがとうございました。

## 次回例会案内

平成25年11月27日（水）

テーマ：碧南市の災害について 大震災・津波等発生時の対応等

担当者：碧南市消防署副署長 鳥居徳義様

平成25年12月4日（水）

年次総会 役員理事選挙